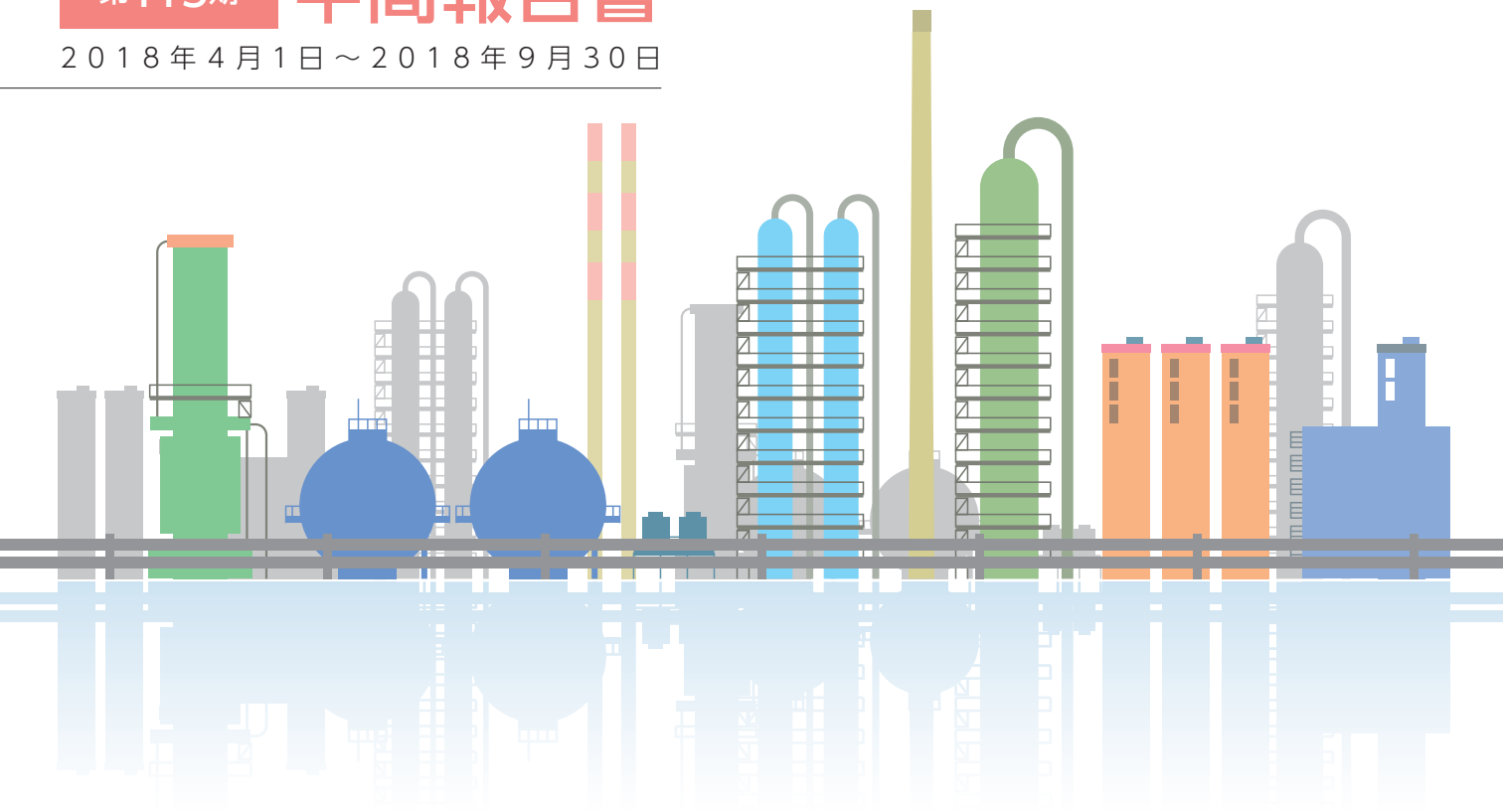


第115期 中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第115期中間期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

吉川 善治

Yoshiharu Yoshikawa



当中間期におけるわが国経済は、輸出の持ち直しに足踏みが見られるものの、個人消費の持ち直しや生産が緩やかに増加するとともに設備投資が増加するなど、景気は緩やかに回復する中で推移しました。

海外経済では、米中の貿易政策による不確実性や通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響があったものの、緩やかな回復基調で推移しました。

当社を取り巻く事業環境については、石油業界では懸案となっていた経営統合・再編の動きも決着の方向となり、ここ数年続いた石油業界の大型再編も最終局面を迎えました。

また、石油製品の需要が減少する国内市場において、

これまでの供給能力の削減により石油製品の需給環境が改善し、事業環境が好転したものの、長期にわたりガソリン価格が高止まりし、ガソリン消費の減少が懸念される状況となっています。

一方、石油化学業界では市況の好調が維持され、高機能品の需要が堅調な状況にありました。あわせて、一般化学業界をはじめとする一般工業分野においても、景気の緩やかな回復に伴い設備投資が回復するなどの動きも見られました。

当社グループでは、当期(2019年3月期)は定期修理工事が前期(2018年3月期)よりも増加する見込みであることや、プラント強靱化対策工事、経年化対策や安定稼働の

ための改造・改修工事のほか、高機能品の生産のための新規プラント建設工事などが引き続き予想されるため、これらの工事の受注確保に最優先に取り組むとともに、材料価格や人件費、外注加工費の上昇要因に対し、直接工事費の原価低減、経費の継続的削減などにより収益の確保に努めました。

当中間期における当社グループの業績につきましては、受注高は前年同期比10.8%増の513億9千9百万円となり、売上高である完成工事高は前年同期比2.8%減の437億8千

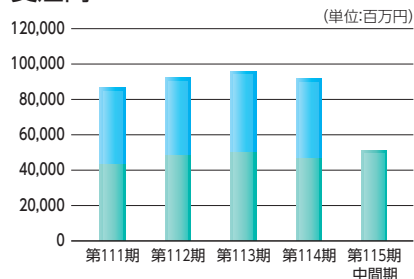
9百万円となりました。また、営業利益は35億8千8百万円(前年同期比1.7%増)、経常利益は37億6百万円(前年同期比0.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は24億4千9百万円(前年同期比0.8%減)となっております。

また、中間配当は見送らせていただきますが、業績は順調に推移しておりますので、期末配当金は当初の予想より1株につき32円から10円増配し、1株あたり42円(連結配当性向40.4%)を予定しております。

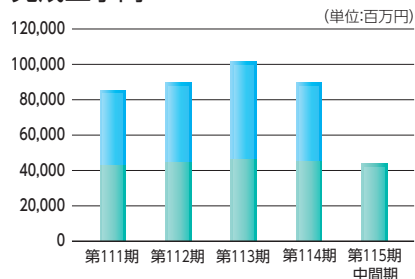
連結業績の推移

■ 中間期 ■ 通期

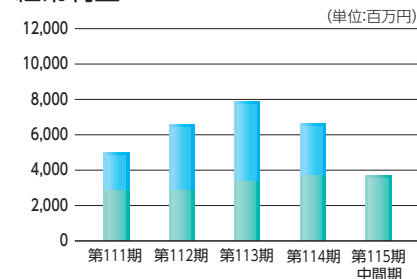
受注高



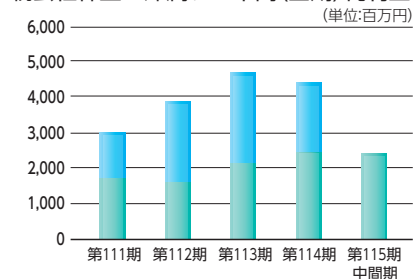
完成工事高



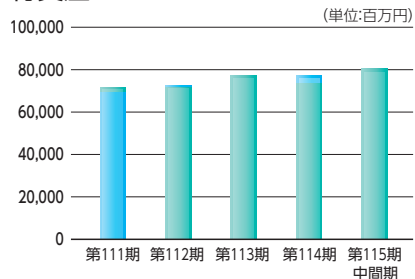
経常利益



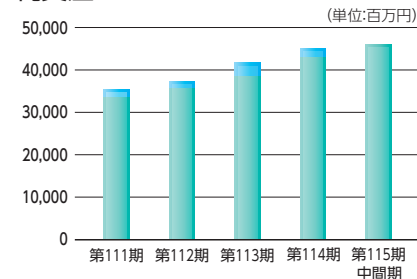
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



総資産



純資産



JXエンジニアリング株式会社との 経営統合に関する基本合意書を締結いたしました。

当社は、2018年9月28日にJXTGホールディングス株式会社およびその子会社であるJXエンジニアリング株式会社との間で、2019年4月1日を効力発生日の目途とする、当社とJXエンジニアリング株式会社との経営統合の実施を目指すことについての基本合意書を締結いたしました。

●統合の背景

- ①石油製品需要減退に伴う設備エンジニアリング市場の縮小
- ②既存設備の高経年化に伴うメンテナンスの重要性および技術に対する顧客要求の高まり
- ③新しい社会を見据えた商品需要の多様化に伴う生産設備の新設・改造需要の将来的な増加の可能性
- ④新たな需要を取り込み、成長を続けるためには、優秀な人材の確保・育成が急務

●統合の背景・目的

- ①新興プランテックの強みである「高度な施工管理能力」と、JXエンジニアリングの強みである「高度なエンジニアリング技術」とを組み合わせ、高度なエンジニアリング力を有するプラントメンテナンスの国内リーディングカンパニーとなることができ、企業価値の向上、ステークホルダーの利益につながる。
- ②両社の特性を融合し、相互のリソースを有効活用することで、多様化する生産設備の新設・改造需要を取り込み、各事業の規模を拡大する。
- ③経営統合を通じ、両社の従業員の活躍の場を従来以上に広げ、各人のモチベーション向上やエンジニアリング技術の維持・発展を目指す。

 **新興プランテック株式会社**

高度な
施工管理能力



 **JX エンジニアリング株式会社**

高度な
エンジニアリング技術

高度なエンジニアリング力を有する
プラントメンテナンスの国内リーディングカンパニーへ

JX JXエンジニアリング株式会社

商 号	JXエンジニアリング株式会社
設立年月日	1967年12月1日
資 本 金	300百万円(2018年3月末日現在)
代 表 者	代表取締役社長 倉田 一郎
所 在 地	横浜市中区桜木町一丁目1番地8
事 業 内 容	各種建設工事・保全工事の設計、施工、施工監理および受託業務等
大株主および 持 株 比 率	JXTGホールディングス(株) 70.0% (株)NIPPO 30.0% (2018年3月末日現在)
従 業 員 数	(単体)603名(2018年3月末日現在)



▼本経営統合今後の日程

基本合意書締結
2018年9月28日

経営統合本契約締結
2018年12月(予定)

当社臨時株主総会
(本経営統合の承認)
2019年2月(予定)

本件統合期日
(効力発生日)
2019年4月1日(予定)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 (2018年 9月30日現在)	前期末 (2018年 3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	62,576	55,766
固 定 資 産	17,815	17,710
有 形 固 定 資 産	10,955	10,846
無 形 固 定 資 産	232	173
投資その他の資産	6,626	6,691
資 産 合 計	80,391	73,477
負 債 の 部		
流 動 負 債	32,075	26,217
固 定 負 債	2,202	2,248
負 債 合 計	34,278	28,465
純資産の部		
株 主 資 本	43,314	42,650
資 本 金	2,754	2,754
資 本 剰 余 金	1,688	1,688
利 益 剰 余 金	38,910	38,247
自 己 株 式	△ 40	△ 39
その他の包括利益累計額	1,979	1,588
その他有価証券評価差額金	2,262	1,904
為替換算調整勘定	△ 65	△ 59
退職給付に係る調整累計額	△ 217	△ 256
非支配株主持分	819	772
純 資 産 合 計	46,113	45,011
負 債 ・ 純 資 産 合 計	80,391	73,477

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自 2018年 4月1日 至 2018年 9月30日)	前中間期 (自 2017年 4月1日 至 2017年 9月30日)
完 成 工 事 高	43,789	45,067
完 成 工 事 原 価	38,228	39,577
完 成 工 事 総 利 益	5,561	5,490
販売費及び一般管理費	1,972	1,962
営 業 利 益	3,588	3,527
営 業 外 収 益	151	226
営 業 外 費 用	32	56
経 常 利 益	3,706	3,698
特 別 利 益	1	0
特 別 損 失	0	1
税金等調整前中間純利益	3,708	3,697
法人税、住民税及び事業税	1,117	1,013
法 人 税 等 調 整 額	93	127
非支配株主に帰属する中間純利益	47	85
親会社株主に帰属する中間純利益	2,449	2,470

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自 2018年 4月1日 至 2018年 9月30日)	前中間期 (自 2017年 4月1日 至 2017年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,198	2,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 227	△ 476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,842	△ 1,891
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 17	△ 7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 888	149
現金及び現金同等物の期首残高	9,456	10,540
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,689	10,690

概 要

- 商 号 新興プランテック株式会社
Shinko Plantech Co., Ltd.
- 本社所在地 〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地 5
- お問合せ先 045-758-1950 (代表)
- 設 立 1938年 (昭和13年) 7月20日
- 資 本 金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 従 業 員 数 連結 1,453名 単体 1,015名

役 員

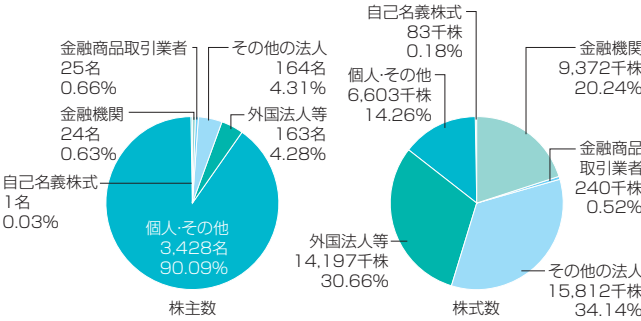
- | ●取 締 役 | | ●執行役員 (取締役兼務者を除く) | |
|------------------------|---------|-------------------|---------|
| 代表取締役社長
執行役員社長 | 吉 川 善 治 | 常務執行役員 | 岡 部 学 |
| 代表取締役副社長
執行役員副社長 | 大 友 喜 治 | 常務執行役員 | 関 口 佳 成 |
| 取 締 役
専務執行役員 | 池 田 俊 明 | 常務執行役員 | 有 馬 知 秀 |
| 取 締 役
常務執行役員 | 山 内 弘 人 | 常務執行役員 | 中宅間 大 作 |
| 取 締 役
常務執行役員 | 佐 藤 琢 磨 | 執行役員 | 志 賀 啓 介 |
| 取 締 役
常務執行役員 | 嵐 義 光 | 執行役員 | 林 裕 之 |
| 取 締 役
常務執行役員 | 上 野 英 俊 | 執行役員 | 木 原 透 |
| 取 締 役
常務執行役員 | 福 久 正 毅 | 執行役員 | 笠 井 正 樹 |
| 取 締 役
常務執行役員 | 毛 利 照 彦 | | |
| 取 締 役
監 査 等 委 員 | 木 原 功 | | |
| 社 外 取 締 役
監 査 等 委 員 | 二 宮 照 興 | | |
| 社 外 取 締 役
監 査 等 委 員 | 小 松 俊 二 | | |
| 社 外 取 締 役
監 査 等 委 員 | 布 施 雅 弘 | | |

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 46,310,892株 (自己株式83,764株含む)
- 株 主 数 3,805名 (前期末比486名減)
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
JXTGホールディングス株式会社	6,100	13.20
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社 (信託口)	2,294	4.96
株式会社ブロードピーク	2,291	4.96
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	2,236	4.84
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,925	4.16
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,827	3.95
株 式 会 社 N I P P O	1,500	3.24
株 式 会 社 光 通 信	1,259	2.72
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,174	2.54
新興プランテック取引先持株会	955	2.07

(注) 持株比率は、自己株式 (83,764株) を控除して計算しております。

●所有株数別株式分布状況



株主メモ

決 算 期	3月31日	(電話問い合わせ) (および郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	6月中		
基 準 日	定時株主総会については 3月31日といたします。 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。	公 告 の 方 法	電子公告といたします。 但し、電子公告による公告を することができない場合は、 日本経済新聞に掲載する 方法といたします。
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日および中間配当を 実施するときは9月30日		
株主名簿管理人	東京都千代田区 丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	単 元 株 式 数	100株
同事務取扱場所	東京都千代田区 丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

Webサイトのご紹介

当社ウェブサイトでは、会社案内、事例・実績紹介、株主・投資家情報など、各ページにおいて、当社に関する情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

新興プランテック

検索

<http://www.s-plantech.co.jp/>

トップページ



株主・投資家情報



最新のIR資料や、決算短信・決算説明資料・有価証券報告書等のより詳細な財務情報を掲載しております。

